

城端児童館「さくらっこ」

住所 南砺市城端1582-1

電話 0763-62-2897

館長 内山 真寿美

総評（今年度、力を入れたこと）

昨年に続き世代交流や地域交流に力を入れました。従来からの児童館まつり・小さなお店屋さん・商工会女性部から依頼の「南砺のマスクングテープ工作」等の行事を行い、商工会女性部から今年もジュニア部門の特別団体賞を頂きました。新たな取り組みとして、学習支援事業の「英語であそぼう！」やAED体験、JOYバース体験、キーボード体験、土曜工作を行いました。



児童館まつりに参加している様子

活動報告 こども企画イベント「室内雪合戦」

①こどもの意見表明・参加の促進 ●

②こどもの権利の理解促進 ●

③こどもの権利侵害への対処

＜事業の概要・成果・改善点＞

【事業の概要】

こどもが自らの意見を出し合って、こども企画でどんなイベントをするか計画をたて、実行経験を通し、生きる力（想像力、協調性、行動力など）を育む経験をします。職員は「こどもたちがやってみたいこと」の実現を支援することで、こどもの学びを促します。

【成果】

こどもが自ら「やりたい事」を基本にして企画した『室内雪合戦』は「いつもやっている室内雪合戦を自分たちだけで計画実行したい。」という気持ちを実行することができました。打ち合わせ会では、こども達はどの様に運営すればよいか活発に意見を出し合っていました。「自分の意見を言う・相手の意見を聴く」ことの勉強になったと思います。勝敗の結果は生き残った人数をシールで表現したり、最優秀チームには「遊んでカード」を配り、誰にでも遊んで欲しい時に渡して、子ども同士のコミュニケーションツールとして使うカードを渡しました。

【改善点】

多くの児童が参加できる様に、平日の放課後に実行しましたが、迎えの時間が早い児童は、もっと参加したい気持ちだったので、時間の設定が難しいと感じました。



運営司会・ルール説明



雪合戦をしている様子

井波児童館「きぼりっこ」

住所 南砺市山見1365

電話 0763-82-5770

館長 新敷 秀子

総評（今年度、力を入れたこと）

すべてのこどもが毎日を安心して過ごし、すこやかに自分らしく育ち、安全で安心して過ごせる多くの居場所を持ちながら様々な学びや多様な体験活動や外遊びの機会に接することが出来、色々な活動にチャレンジしてもらいました。仲間とで出会ってたくさんの経験をしてもらい、地域の人たちといろいろな体験や交流をする機会づくりに力を入れました。ニュースポーツ「バッコ」の指導を受けて、放課後こども教室と合同で大会を開きました。



バッコ競技の指導を受ける様子

活動報告 「三世代交流クリスマス会」

①こどもの意見表明・参加の促進 ●

②こどもの権利の理解促進 ●

③こどもの権利侵害への対処 ●

<事業の概要・成果・改善点>

【概要】

恒例の井波地域づくり協議会と合同で行う三世代交流クリスマス会を行い、未就学児から大人まで83名でにぎわいました。今年は大道芸人によるバルーンアートショーやマジックショー、昔の遊びなど、いろいろな催しを準備して、指導していただく地域の方とのつながりを大切にしました。当日は会場に突然のサンタクロースが登場してプレゼントを配るサプライズもあり、豪華景品がもらえるビンゴゲーム大会などで楽しいクリスマス会となりました。

【改善点】

児童館を地域のイベント会場として提供し、積極的に協力してる地域の住民・団体との連携を通じて、こどもが多様な大人と関われる経験の場所となっていくようにしたいです。



クリスマス会にサンタが登場



バルーンアートショー

福野児童センター「アルカス」

住所 二日町435番地1

電話 22-3898

館長 野村 始子

総評（今年度、力を入れたこと）

多くのこどもが表現活動に参加できるように、例年よりも工作の機会を増やしました。人形劇のように長い時間をかけることに抵抗のあるこどもが増えていることから、短時間で完成する工作の頻度を増やしました。同じ材料でも個性的な作品に仕上がったり、他の人に見てもらったりする経験で自他を認め合う機会となりました。



クリスマス長ぐつ作り

活動報告 「みんなで作り上げるペープサート人形劇」

①こどもの意見表明・参加の促進 ●

②こどもの権利の理解促進

③こどもの権利侵害への対処

<事業の概要・成果・改善点>

小学1年生から3年生を対象に工作と人形劇を行いました。

6月から、希望者がペープサート人形作りをはじめ、個性的な人形が完成した後、7月には作った人形がどんなことを話すのか、どんな性格なのかを想像しておしゃべりをしました。そのおしゃべりから台本を作り、舞台道具や音楽を決めて練習をはじめました。本番では保護者10人以上の観覧もあり、緊張の中にも楽しんでいる様子が伺えました。

今回は、週2回の英語教室を反映させた場面があり、舞台と客席の間で英語を使った応答場面もありました。英語の発音やリズムを体感し仲間との一体感が生まれた場面となりました。

今後は、語学学習に興味を示す子どもも出てくると思われます。活動終了後、すぐに「またやりたい」と言っていたので、子どもたちの充実ぶりがわかります。

ペープサートを持って練習中です。



ペープサート人形

福光児童館「きっずらんど」

住所 福光1269番地1

電話 52-8200

館長 上田 紀子

総評（今年度、力を入れたこと）

今年度は新1年生の来館者が多く、月が進むごとに低・中学年の利用者割合が多くなっていった印象でした。放課後児童クラブの児童たちも交え、異学年交流が促された年度であったと思います。

そのような中、事故によるケガや大きなトラブルが生じないよう、やってはいけないことや危ないことに対し注意を払い、児童たちが安全に過ごせるよう努めました。



楽しそうな子ども達

活動報告「きっずらんどフェスティバル(お化け屋敷)」

①こどもの意見表明・参加の促進 ●

②こどもの権利の理解促進 ●

③こどもの権利侵害への対処

<事業の概要・成果・改善点>

きっずらんどフェスティバルは、福光児童館における年に1回のお祭りの行事で、毎年多くのこどもやその保護者が来館しています。

その中で、今年は「こどもの権利」自主企画事業として、こども向けアンケートで要望が多かった「お化け屋敷」を実施しました。長期休業中にこどもを主とした会議を行って、アイデア出しと内容の決定を行い、それに基づき、参加するこども一人ひとりがなりたいお化けになれるよう、衣装や小道具の準備などを行いました。

参加したこどもたちは、思い思いのお化けになり、それを演じることをとても楽しんでくれていたように思います。

こどもたちが積極的に意見を出し、自らこうしたいというイメージを持って参加する楽しさを実感することができたので、来年度も同様の事業を実施する際には、よりこども達に主体性を置いた企画になるよう努めてまいります。



収録したホラー動画とキョンシー役の児童



みんなでなりたいお化けになりました